

1 単位制について (4月14日 4年LHRの振り返り)

(1) 4年からは中等教育学校「後期課程」

中等教育学校は、1～3年の前期課程と4～6年の後期課程に分かれており、開成の後期課程は、「単位制」の理数英の専門学科「コズモサイエンス科」となっています。

(2) 自らの学びをデザインする単位制

単位制とは、一人一人の生徒の学びの主体性を大切にするために、全員が共通して学ぶ教科・科目(必履修科目)を最低限度にして、生徒が自らの興味・関心や進路等に応じて履修する科目を選択し、自らの学びをデザインすることのできる制度です。

また、単位制は、学年の区分がないということも特徴です。私たちは普段、4年生とか5年生とかという表現を使いますが、後期課程の生徒は、正式には4年次の生徒とか、5年次の生徒と呼ぶことになっています。

(3) 単位の履修とは

「1単位」とは50分×35回の授業のまとまりで、「履修」とは、授業に出席することです。開成では、50分の授業時間の3分の1以上の遅刻は「欠席」、35回の授業うちの3分の1の授業の欠席は履修が認められない(未履修)ということになりますので、遅刻、早退、欠席の多い皆さんは注意が必要です。

各科目の単位数の例

2単位の科目～「現代の国語」「地理総合」など週1回1セッション(100分)の授業

1単位の科目～2週に1回の「保健」

5単位の科目～「理数数学」

(4) 「履修と修得の分離」

「単位」は「履修」が認められたうえで、各科目の到達目標に対して一定以上の成果が認められた時、具体的には5段階で2以上の評定を得ること(「1」がつかないこと)で「修得」が認められます。このことを「履修と修得の分離」といいますが、評定1は大学入試等で提出が求められる調査書に記載されますし、奨学金の受給にかかわる判断等にも大きくかかわってきます。

2 5年次からの履修コース・科目の登録

(1) 履修コースの登録

昨年の「IP・DP説明会」でお話ししたように、開成では4年次まではIBのMYPプログラムに基づいて全員が同じ教科・科目を学びますが、5年次からは自らの希望によって、開成独自のIP(インクワイアリー(探究))・

プログラム)コース、もしくはIBのDP(ディプロマ・プログラム)コースを選択して教科・科目を履修することになります。(4月18日にお知らせしたように、DPコースを希望する皆さんについては適性を判断するための選考が行われます。)

(2) 履修コース・科目登録の流れ(予定)

- 4月14日(金) ⑦LHR 単位制についての説明
- 4月18日(火) 「5年次DPコース選択希望者の選考にかかわるお知らせ」配布
- 4月26日(水) ⑤コズプロ 履修コース・科目登録ガイダンス①
履修コース・科目登録と決定までの流れと教育課程表の説明
- 5月19日(金) ⑦LHR 科目選択ガイダンス②
各コース・科目の概要 履修コース・科目登録のポイント
- 5月下旬 担任との個別面談(教育相談)
- 6月23日(金) 3年生+その保護者向け「IP/DP説明会」(4年希望者も参加できます)
- 6月30日(金) 「履修コース・科目登録願」提出締め切り
- 夏休み 自分プレゼン
- 9月1日(金) ⑦LHR 科目選択ガイダンス③
開講されない科目の周知 「履修コース・科目の登録届」の配布
担任との教育相談
- 10月 DPコース履修希望者の選考
- 10月下旬 「履修コース・科目登録届」提出締め切り

(3) IPコース・DPコースの概要 ~裏面「令和2年度入学生(9期生)教育課程表」参照

3 幸福(well-being)をデザインするための「自己との対話」

開成では、生徒の「生涯にわたって学び続ける力」を育てるために、生徒が主体的に行う「学校外での学修」として、「アニマドール」などの学校間連携事業や、高大連携講座、SSH事業にかかわる活動の「先端科学特論」や「生物野外観察」「地学野外観察」などの学びの環境を整え、それらに対する単位認定を行っています。

単位制は生徒の成長の機会を保証するために大人が整えたしくみです。それをうまく活用するには、自己との対話を繰り返しながら自分の強みや弱みを知り「自分の軸を持つ」こと、そしてそれをベースに「自分の道を切り拓く」勇気をはぐくみながら、将来どのように「社会のために動く」のか自らの未来をデザインしていくことが求められます。「自分プレゼン」や「FJS(フューチャー・ジョブ・セッション)などのi-Projectがその助けとなり、みなさんの人生を幸福(well-being)に導くための学びとなってくれることを願っています。